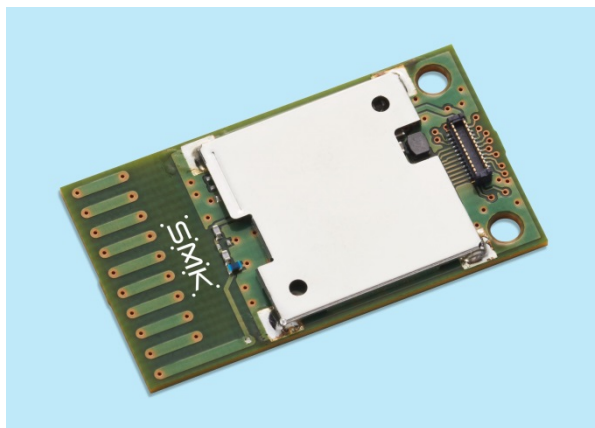


## ＜新製品情報＞

### 「Sigfox ゲートウェイ対応モジュール WF923G シリーズ」を開発 ＝エンドデバイスと Sigfox 基地局間の中継機能を実現＝



当社はこのほど、エンドデバイスと Sigfox 基地局間の中継機能を実現する「Sigfox ゲートウェイ対応モジュール WF923G シリーズ」を開発し、10月より受注活動を開始します。

Sigfox 通信サービスでは、屋内でも通信できるように基地局が設置されていますが、ビルの中核部や地下など、基地局へ直接電波の届きにくい場所では、同通信サービスの利用が困難になります。そこで今回、Sigfox RF モジュール「WF923」（昨年発表）に 920MHz 帯独自方式のロングレンジ通信機能および Sigfox 通信を中継する機能を追加した「WF923G」を開発しました。本モジュールの中継機能を使用することで、電波が届かない場所でも Sigfox 通信が可能になります。

なお、中継機能を用いた通信を簡単に評価できる、本モジュールの評価キットをご用意しています。

当社は今後も、LPWA に対応可能な無線通信用モジュールのラインナップを拡充してまいります。

\*Sigfox : 欧州をはじめ 30 カ国以上でサービス展開されている LPWA 無線方式。日本においても今春からサービス展開が始まり、様々な用途で実用化に向けた実証実験が行われている。

\*LPWA (Low Power Wide Area) : IoT/M2M に適した省電力広域無線通信技術。

### <中継機能を導入した場合と従来の中継なしの場合の構成比較>



エンドデバイスから中継機能へのデータ送信には 920MHz 帯を使用した SMK の独自方式を採用しています。

AT コマンドであれば、エンドデバイスの制御側は、中継あり/なしの違いを意識することなくシステムを開発することが可能です。

#### 【使用用途】

設備機器、セキュリティ機器、見守り関連機器、環境モニタ、等産業機器全般

発表日	2017年9月5日
リリース番号	1086RD
製品名	Sigfox ゲートウェイ対応モジュール「WF923G」
特長詳細	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) エンドデバイスと Sigfox 基地局間で直接通信できない場合に、本モジュールの中継機能を介して Sigfox 通信の確立が可能。</li> <li>2) Sigfox 通信モード、エンドデバイスモード、ゲートウェイモードに動作の切り替えが可能。</li> <li>3) Sigfox 通信と SMK 独自のロングレンジ通信が可能なコンボモジュール。</li> </ol>



主な仕様		Sigfox 通信モード (Sigfox UPLINK のみ)	エンドデバイス+ゲートウェイ (SMK 独自+Sigfox UPLINK)
	周波数	923.2MHz (Sigfox)	923.2MHz (Sigfox) 920.8~921.6MHz (SMK 独自)
	準拠規格	Sigfox RCZ3J ARIB STD-T108	Sigfox RCZ3J (Sigfox) ARIB STD-T108 (Sigfox/SMK 独自)
	外形寸法	35mm (W)×20mm (D)×2mm (H) *コネクタ部含まず	
	上位インターフェース	UART (Sigfox AT コマンド)	
	送信出力	+13dBm 以下	
	伝送速度	100bps	100bps (Sigfox) 625bps (SMK 独自)
	電源電圧	DC 2.2~3.8V	
	消費電流 (VDD=3.3V)	送信時 : 32mA (typ.)	
	スタンバイ電流	1μA 以下	エンドデバイス : 1μA 以下
	ペイロード長	Max. 12bytes	
	アンテナタイプ	内蔵 (プリントアンテナ)、外付け	
	動作温度範囲	-20℃ ~ +70℃	
	認証	Sigfox RCZ3J P1 認証 (モジュール認証)、電波法 : 日本 (予定)	
	受注活動 開始時期	2017 年 10 月	
量産開始 時期	2018 年 1 月		
製品 レポート	<a href="#">通信モジュール 製品情報ページ</a>		
お問い合わせ	<a href="#">お問い合わせはこちら</a>		